

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 実用新案公報 (Y 2)

(11)実用新案出願公告番号

実公平6-26569

(24) (44)公告日 平成 6 年(1994) 7 月20日

(51)Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
E 0 2 B 5/00		9320-2D		
E 0 3 F 5/04	H	7005-2D		

請求項の数 1 (全 3 頁)

(21)出願番号	実願平3-32311	(71)出願人	000211237 ランドス株式会社 岡山県真庭郡落合町大字開田630番地 1
(22)出願日	平成 3 年(1991) 3 月 9 日	(72)考案者	光成 美文 岡山県久米郡久米町大字中北下1158- 1
(65)公開番号	実開平5-83027	(72)考案者	古森 義明 岡山県津山市中原50
(43)公開日	平成 5 年(1993)11月 9 日	(74)代理人	弁理士 森 廣三郎
早期審査対象出願		審査官	杉浦 淳
		(56)参考文献	実開 平 3 -32675 (J P, U)

(54)【考案の名称】 水路柵ブロック

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 箱型コンクリート製水路柵ブロックの少なくとも一方の側壁 2 に対し、動物脱出用スロープ 3 を形成してなることを特徴とする水路柵ブロック。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本考案は、宅地、ゴルフ場等の土地造成に伴う排水路に転落する動物の溺死を防止することを目的に開発した水路柵ブロックに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来の水路柵ブロック二次製品は、周囲の壁面がほぼ垂直の壁になっている。蛙、蛇、虫等の小動物は側壁が滑面である水路柵ブロックの場合は、たとえ小さなものであってもそれに落下すると、もはや遡上

2

ることができずに、溺死したり餓死してしまうのが常であった。特に、山林、原野の中の水路では、その被害が多かった。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】 本考案は、水路柵ブロックの形状に工夫を加え、上記のようにたとえ小動物が水路柵へ落ちても生命を失うのを防止し、自然環境の破壊から守ろうとするものである。また、人や鹿等の大きな動物も水路柵から脱出できるよう、大形水路柵ブロックにも適用できる一体構造可能な形状につき検討を加えた。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本考案の水路柵ブロックは、次の構成である。  
すなわち、箱型コンクリート製水路柵ブロックの少なく

3

4

とも一方の側壁2に対し、動物脱出用スロープ3を形成したことを特徴とする。

ここにいう動物脱出用スロープとは、水路柵ブロックの底部から上縁部間に斜めに設けた部分をいう。

【0005】

【作用】水路柵ブロックに設けた動物脱出用スロープにより、水路内に転落した人や動物、特に小形水路において小動物が水路内へ落ちても、小動物はこの水路柵ブロックの部分に達すると動物脱出用スロープにより容易に自力で水路外へ脱出し、生命をとり止めることができ

【0006】

【実施例】図1は本考案の水路柵ブロックの実施例の斜視図、図2は図1中A-A断面図である。これは、水路の溜柵部分に用いるもので、動物脱出用スロープ3を側壁2と一体的に形成した水路柵ブロック1である。箱型のこの水路柵ブロック1は四方の側壁のうち三方が従来のように垂直で、それらの上部には流水路9と排水路10のための切欠7がある。残る一つの側壁が動物脱出用スロープ3となっている。上面は石の破碎面のような粗面にして水路柵からの動物の這上りを容易にしている。その上縁部にも流入路9が接続されている。水路柵内に転\*

\* 落した動物がこの動物脱出用スロープ3を利用して地上へ這い上がることができ、容易に自力で脱出できる。

この例は水路柵の四方の側壁のうち一方のみに動物脱出用スロープ3を設けているが、必要により二方、三方等、多方向に動物脱出用スロープ3を設けても良い。

【0007】これらの動物脱出用スロープ付水路柵ブロックは水路長10~20mに1ヶ所程度の割合で施工する。他の水路柵ブロックが従来のものでも、これにより環境保全の目的を達成することができる。

【0008】

【考案の効果】以上説明したように本考案の水路柵ブロックを水路の一部へ施工することによって、水路や水路柵内に転落した動物の脱出を可能とし、生命をとり止めることができ、自然環境の保全に寄与する。

【図面の簡単な説明】

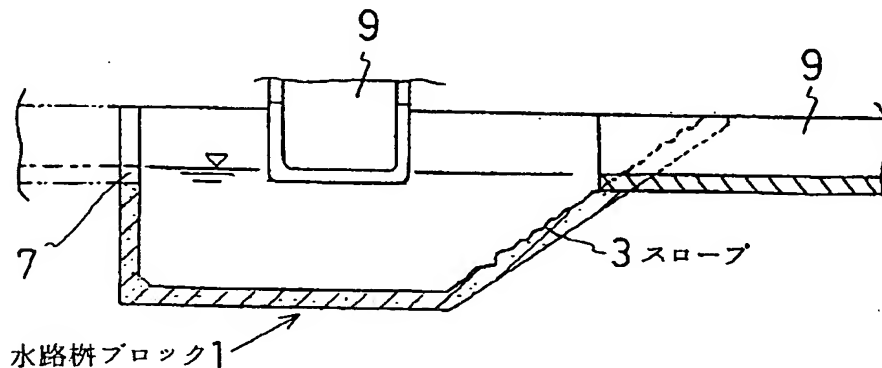
【図1】本考案の実施例の斜視図である。

【図2】図1中A-A断面図である。

【符号の説明】

- 1 水路柵ブロック
- 2 側壁
- 3 動物脱出用スロープ

【図2】



【図1】

